

レコードのインポート

複数のレコードを一括してAlmaにインポートするために、以下を定義するインポートプロファイルを作成することができます。

- インポートするレコードを含むインポートファイルのソースと構造
- インポートされたレコードを既存のレコードにマップする方法 (既存のレコードがある場合)
- 既存のレコードを統合、上書き、または複製することにより、インポートされたレコードを処理する方法
- Almaレコードの要件に適合するようにレコードを正規化する方法

インポートプロファイルを使用すると、**装備済み**、埋め込みオーダーデータ(埋め込みオーダーデータ, EOD)、書誌および**権限データ**レコードを含むさまざまなファイルをインポートできます。

Alma管理者は、さまざまなソースとファイルフォーマットのインポートプロファイルを構成します。次に、**目録**マネージャーがジョブを実行して、これらのプロファイルを使用してレコードをインポート、ジョブをモニタ、結果を表示し、インポートに関する問題を解決します。

以下のリンクから、Almaの様々なインポート機能を活用する方法が記載されたセクションに接続できます。他のセクションでは、インポートジョブの設定と実行する方法や、その進行状況のモニタ、問題の解決、ジョブレポートを表示する方法を学ぶことができます。インポートプロファイルの設定を開始するには、[インポートプロファイルの管理](#)を参照してください。

Note

同じタイトルを同じファイルに複数回ロードする行為は、Almaではサポートされていません。さらに、同じタイトルだとファイルが並行して処理され、一方が他方を認識しないため、Almaでは同じタイトルの異なるファイルをサポートすることはできません。

Almaはインポートプロファイルに関連する次の追加機能を提供します。

- **埋め込みオーダーデータ (Embedded Order Data, EOD)** のアップロード - ベンダーが提供する埋め込みオーダーデータファイルを使用して、インポートされたレコードの注文明細と目録を同時に作成できます。埋め込みオーダーデータ(EOD)ファイルには、レコードとオーダーの両方の情報が含まれています。管理者はインポートプロファイルを設定し、異なる予算を利用して購入したり、さまざまな図書館向けに購入したりすることができます。詳細については、[埋め込みオーダーデータ \(EOD\) フィールドマッピング](#)を参照してください。
- **装備済み資料のアップローディング** - ベンダーがすでにバーコード化されているリソースを提供している場合、書誌レコードの読み込み、既存の目録のアップデート/上書き、および目録を既存の注文明細に一致させることができます。これは、**装備済み資料のアップローディング**とも呼ばれます。

Almaは各レコードについて、ベンダーから受入した注文明細の参照番号またはベンダーレファレンス番号(注文明細の参照番号が優先的に与えられる)のいずれかと一致するようにします。装備済み資料のインポートは、Almaの請求番号と既存の冊子の実際の請求番号/背表紙ラベルとの一貫性に対処し、アイテムがスタック内で確実に見つかるようにします。新しい注文明細が作成され、注文明細と所蔵レコードが既に存在する場合、既存の所蔵レコードは変更されません。書誌レコードの請求番号を使用して、新しい所蔵レコードが作成されます。詳細については、[目録プロフ](#)

[ファイルアップデートの設定](#)を参照してください。

- デジタル目録のアップローディング - デジタル目録や目録に関連する書誌レコードをアップロードすることができます。
- コミュニティゾーンにプロファイルを投稿 - 管理者は他の機関に対し、インポートプロファイルを投稿(共有)ことができ、他機関はそれをコピー、実行することができます。詳細については、[コミュニティゾーンにインポートプロファイルを投稿](#)を参照してください。

Note

Almaは、受入セクションとリソース管理セクションの両方にレコードのインポートのためのリンクを提供します。これらのリンクは同じページにつながります。ただし、〔受入〕セクションからインポートページにアクセスする場合、受入に関連するプロファイルのみを実行およびモニタできます。(リソース管理セクションからアクセスする場合、受入に関連しないプロファイルのみを実行および監視できます。)管理機能にはリソース管理セクションからアクセスことができ、そこからすべてのインポートプロファイルと設定オプションにアクセスできます。

この章の内容は次のとおりです。

- [インポートプロファイル種別](#)
- [インポートプロファイルの管理](#)
- [インポートプロファイルを使用したレコードのインポート](#)
- [インポートジョブの監視と表示](#)
- [インポートの問題を解決する](#)
- [CSVまたはExcelファイルを使用したレコードのインポート](#)

リモートデジタルリポジトリへのインポート情報の特定については、[リモートデジタルリポジトリの管理](#)を参照してください。